
真・私の生きる道は.....

チルノ・トレバー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真・私の生きる道は……

【Nコード】

N7935Y

【作者名】

チルノ・トレバー

【あらすじ】

一匹の黒き鷲が円卓の空に散った。だが彼の物語はまだ終わってはいなかった……
未知の世界で鷲は再び空を飛ぶ！！

黒き鷲は円卓の空にて、歓喜に身を震わせる（前書き）

久々に書いてみたが、見るも無残な結果に……

黒き鷲は円卓の空にて、歓喜に身を震わせる

1995年5月28日 ベルカ絶対防衛戦略空域B7R通称『円卓』

この日、連合軍がベルカの生命線である円卓を奪取するべく、大規模な

航空部隊による進撃を開始した。

当初戦闘は熾烈を極めながらもベルカが優位に立っていたが、ウステイオ共和国の傭兵であるガルム隊が到着したことにより状況は一変する。

ガルム隊の圧倒的な技量により、次々に落とされていくベルカ空軍。

大勢は既に決していた。

勝つことが出来ないことを悟り、次々に退却していくベルカ空軍。だがそんな中、一機の両翼を黒くペイントしたフォックスハウンドが奮戦していた……

sideシールド

「落ちろ!!」

俺はそう言いながら、目の前に飛んでいる連合軍機に向かってミサイルを撃つ。

相手は避ける暇も無くミサイルが命中し、爆炎を上げながら落ちていった。

「フウ……」

敵を撃墜したことを確認して息を吐く。

勝ち目が無いことは既に分かっていた……

だが俺は認めたくなかった。

まだ終わっていない、俺はまだ戦える……

そう心を奮い立たせ、俺はただ奴等を落とす続けていた。

「そうだ……まだ終われない。奴と殺り合うまでは!!」

俺そう言っただけで操縦桿を握り締める。

俺の頭に浮かんでいたのはガルの1番機……現れてから目覚しい活躍をしているあのイーグルだった。

間違いなく、奴は円卓に居る……そう確信していた。

先程まで優位だった戦況を覆したのは間違いなく奴だ。

奴には戦場を空気を変えることが出来るだけの力がある。

そう奴のことを考えながら、操縦していた時だった。

奴が俺の前に現れたのは……

「……見つけたぜえガルムウウー!!」

俺はそう咆哮しながら、俺はイーグル（1番機）に向かって旋回する。

あの男と殺し合うために……

「ハッハア！！やっぱりこうでなくっちゃなあ！！」

奴と殺し合い初めて、どれだけの時間が経っただろうか？
だが俺には関係無い……今この瞬間、この時が俺の人生最高の時
なのだから……

俺はガルスⅠが次々に撃ってくるミサイルを避けていく。だが……

「ぐうお！？」

避けきれずに一発食らってしまう。かなり損傷が酷いのか先程から
警報が鳴り止まない。

俺と奴の腕前は天と地の差があった。

ボロボロで今にも墜落してしまいそうな俺のフォックスハウンド
に比べ、

奴の乗るイーグルは傷一つ付いていなかった。

「まさかここまで相手にならないとはな……」

そう言った俺が感じているものは絶望感では無く、歓喜だった。
自分より強い相手に会うことが出来た……ただそのことが無性に
嬉しかった。

暫しの間喜びに浸っていると、警報が一段と酷くなってきた。

……機体が限界のようだ。

「最後まで付き合ってもらうぜ？」

俺はそう言って、イーグルに向かって一直線に向かっていく。

奴も俺の意図を読み取ったのかこちらに向かってくる。

イーグルを照準を合わせ、トリガーに指を添える。

ミサイルはもう弾切れになっており、ガトリングの弾薬も残り僅かだった。

イーグルが射程内に入るのがやけに遅く感じる。

まだだ……まだ引き付けろ！！

息が荒くなるのが分かる。

そしてイーグルが射程内に入った瞬間、トリガーを引いた。

イーグルが一瞬で隣を通り過ぎる。

そして次の瞬間、俺の機体は爆音と共に炎包まれ墜落していく。

「最後の最後で……楽し……」

そこまで言った瞬間機体は爆散し、俺意識は永遠の闇に沈んでいった……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7935y/>

真・私の生きる道は.....

2011年11月23日17時45分発行